

# TOKYO働き方改革宣言

- ・働き方改革の取組を通じて企業の魅力を高めるとともに「仕事と生活の調和」の実現を推進させる。
- ・無理な推進では無く、適正化を目指す。

平成29年12月26日

平岡織染株式会社

## 目 標

### 働き方の改善

- ・働き方改革の本質を共通理解し、属人化の改善及び多能工化を目的とした職能の育成及び指導の仕組みを再構築することにより偏った人員配置やシフトにならないようにする。

### 休み方の改善

- ・休み方改革の本質を共通理解し、効率化(労働時間短縮)、属人化の改善及び多能工化を目的とした職能の育成及び指導の仕組みを再構築することにより誰もが確実に休めて休養が取れ、リフレッシュして働くことができるようにする。

## 取 組 内 容

### 働き方の改善

- ・経営トップが「仕事と生活の調和」に関して社内に告知する。
- ・労働時間の管理体制を再点検し、労働時間の適正把握のために現行の始業及び終業時刻の把握方法を見直す。
- ・管理者に対し部下の時間外勤務状況の毎日管理を徹底させる。

### 休み方の改善

- ・休暇取得の管理体制を再点検し、休暇取得状況の適正把握のために現行の時間外労働時間の把握方法を見直す。
- ・管理者に対し部下の年次有給休暇消化状況を定期的に提供する。
- ・管理者による声掛けなど、休暇を取得しやすい雰囲気を作る。